

15 鈴峰地区地域づくり協議会



鈴峰地区は基本目標である「連帯感のある安全・安心で豊かな住みよいまち」を目指し、地域づくりを進めています。
福祉部・産業部・安全部・文化部の4つの部会から構成されており、こどもから高齢者まで年を重ねても安心して暮らせるまちになるように地域が一丸となって取り組んでいます。

1

主な取組

鈴峰地区地域づくり協議会の人気イベントとして、「歩け歩け大会」があります。
小岐須公民館をスタート地点として、2.8kmと3.7kmのコースを地域の方が集まり、みんなで歩きます。
歩いた後には参加賞として、とりめし弁当が配られるため、それを楽しみに、毎年参加する方がたくさんいます。
また、こども達も楽しめるようにビンゴ大会も開催されます。



2

協議会の構成について

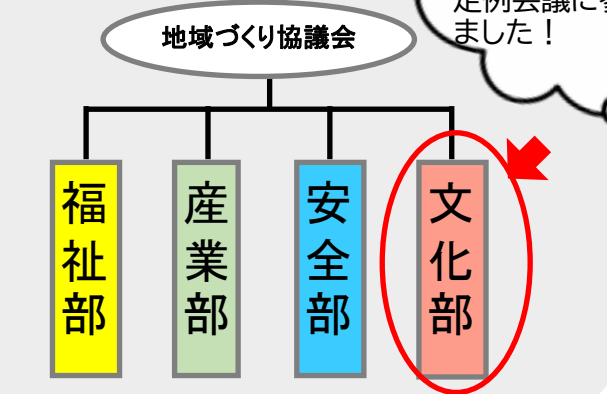
福祉部⇒こどもから高齢者まで、年を重ねても安心して暮らせるまちを目指す

産業部⇒農業の活性化と緑豊かな自然環境を活かしたまちづくりを目指す

安全部⇒交通・防犯・防災の危機管理や安全意識を高める、人との繋がりのあるまちを目指す

文化部⇒文化的行事やスポーツを通して青少年の健全育成を目指す

組織図など



この文化部の定例会議に参加しました！



問合せ先 ▶ 鈴峰地区地域づくり協議会 事務局
住所: 鈴鹿市伊船町1009番地の5(鈴峰公民館内) 電話番号: 059-371-1747(鈴峰公民館)

3

文化部会議って、こんな会議！

毎年恒例の「夏休み宿題応援教室」「歩け歩け大会」「冬休み書初め大会」等の事業について、体育振興会、学校運営協議会、地元企業や自治会を中心にどのように進めていくかを定期的に集まり話し合っています。
こどもから高齢者の方まで楽しめる行事になるように、皆でアイデアを出しながら議論を重ねています。



会議で出た課題や思い

鈴峰地区地域づくり協議会で長く続く「歩け歩け大会」は毎年楽しみにしている地域の方がたくさんいるので、今後も地域全体として取り組める行事として続けていきたい。
参加者に配られる「とりめし弁当」を楽しみに参加する人も多いが、年々お弁当の値段が上がっている。予算事情で地域の楽しみを半減させないためにも、今後は事業を継続できるように様々な方法を検討していかなければいけない。

会議で感じたこと

地域がより暮らしやすい町になるように4つの各部会の会議で地域の方が話し合いました。
その中で限られた予算や人員を最大限に活用できるように、それぞれの部会や地域の住民が連携して取り組んでいきたいとの意見が多かったです。
他の自治体の良い事例を参考にして、様々な事業を考えていきたい地域の方がたくさんいました。



事業に対する地域の方の思い



地域の方の声

毎年実施している宿題応援教室はとても人気です。より多くのこども達に参加してもらえるように、地域の学校を通じてこどもたちに事業を知ってもらいたいです。



参加者の声

夏休みの宿題を講師の人に手伝ってもらってよかったです。
来年も参加したいです。